

8-4-42 品質向上専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

(2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

(3) 品質セミナーへの参加

- ・開催時期：令和6年10月21日～11月8日
- ・開催地：オンライン形式（ビデオ配信）
- ・主催：技術部会/品質委員会
- ・参加者：全体で2,204名（内133名は発注者）

当委員会のプログラムは、第2講 品質の確保・向上に向けて「エラー再発防止への取り組み」とし、50分の講演を行った。

(4) セミナーの評価（アンケート結果より）

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容は「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が99%（昨年度99%）、講師の説明は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が97%（昨年度98%）と、昨年同様高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得た具体の事例に重点を置いた内容と、事前の準備に時間を割いた結果と考える。

自由意見では、具体的な各社の対応が参考になり、よく理解できたという評価が多く高い評価を得られた。下記のa)、b)や実務に直結する身近な事例がわかり易いという意見が多くあった一方、アンケート調査結果の説明に時間を掛けすぎている、15分程度に3分割するなど、短時間での視聴を希望する意見があった。

- a) アンケートによってエラー発見者や発生原因が定量的に把握でき、対策を考えるうえで有用と感じた。社内でも段階ごとの照査や照査期間の確保を呼び掛けているが、実施が難

しいケースがあるため、本セミナーを機に工程管理を強化したい。

- b) 特に参考になった内容として、どのような原因でエラーが起き、どう工夫すればエラーが減らせるかという点であった。また自己照査がエラー発見に大きく寄与していると初めて知り、今後はさらに徹底したい。

(5) 品質向上施策の改善提案

業務スケジュール管理表や条件明示チェックシートなどの国土交通省と建コン協で実施している品質確保策に対して、施策の効果などに関するアンケートを実施した。調査結果は、整理・分析し、今後の改善点などを国土交通省との要望と提案に活用すると共に、調査結果を令和7年度の品質セミナーで会員企業へ紹介する予定。

(6) 品質向上推進ガイドラインの周知活動

令和4年11月発行の品質向上推進ガイドライン活用ツール（改訂版）について、令和4年以降の最新エラー事例の追加作業を実施した。令和7年5月以降に協会ホームページにて公表予定。

(7) 品質確保向上のアンケート、ヒアリング

品質向上策のアンケート（テーマは業務効率化）や企業ヒアリング及び品質セミナーを通じてその活用方法等を会員企業へ周知した。

2. 次年度の活動

令和7年度は、「効率化による品質確保」をテーマに、労働時間の制約や人材が不足する中で、ICT等を活用して効率的に品質の確保・向上を行っている事例についてアンケートとヒアリング調査を行い、品質向上との関連性を分析のうえ、とりまとめて令和7年度品質セミナー（11月開催）での発表を予定している。

また、次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、さらに品質向上推進ガイドライン（改訂版）の普及や品質向上に関する講習会の実施を予定する。

（品質向上専門委員会委員長 青木 毅）